



歌
 言
 考
 録
 江
 漢
 息
 交

目錄

天性



萬葉集畧解目錄全二冊 尾州名古屋寺目 永樂屋東四郎

此書を編の千落大人著せる畧解の目錄ありて古より未だ訓点の詳
きもの初学の爲に考へて古云を訂し訓点を施し今の代は通
易のしめもて書しくの類をもて奉致誠求むる便とて簡叙を
記し又校異奉け了叙をも並記し其類毎の字を五十韻に
あて便読し備し今に訓点を懸讀し其古人の名おび
官名地名等の綴法をも漢里古云の意をも得せり



歌合目錄

凡三十六部



一天德哥合

判小野美丸大臣

六十二代村上天皇天徳四年三月晦日

一近江御息所哥合

六十八代一條院

一若狹守通宗朝臣女子違哥合 判通俊朝臣

七十二代白河院明應三年

目錄

一 高陽院寺合

判師大納言經信

七十三代堀河院寛治八年

一 中宮亮重家之歌合

判歌廣弼 後改後成

七十八代二條院永萬二年

一 位吉社寺合

判後成卿

八十年代高倉院嘉應二年十月九日

一 建春門院北面寺合

判後成卿

八十年代高倉院嘉應二年十月十六日

一 廣田社寺合

判後成卿

八十年代高倉院兼安二年十二月八日

一 三井新羅社寺合

判後成卿

八十年代高倉院兼安三年八月十五夜

一 賀茂社寺合

判後成卿

八十年代高倉院治兼二年三月十五日

一右大臣家言合

判後成卿

八十二代高倉院治承三年十月十八日

時代不同歌合

八十二代後鳥羽院勅撰

一後京極自歌合

判後成卿

八十二代後鳥羽院建久九年五月二日

一御室撰言合

判後成卿

八十三代土御門院正治二年三月五日

一新宮撰言合

判後成卿

八十三代土御門院建仁元年三月廿九日

一八月十五夜言合

判後成卿

八十三代土御門院建仁元年八月十五日

一九月十三夜言合

判後成卿

又名戀五十番言合 或号水無瀬言合

八十三代土御門院建仁二年九月十三日

一 不清水若宮撰所合 判定家御

八十三代土御門院建仁三年七月十五日

一 建曆仙洞所合 判定家御

八十四代順德院建曆三年

一 建保所合 判定家御

八十四代順德院建保二年八月十六日

一 光の峯寺指改家所合 判定家御

八十五代後堀河院貞永元年七月

一 名所月歌合 判定家御

八十五代後堀河院貞永元年八月十二日

一 目吉社所合 判定家御

八十六代白河院嘉禎元年十二月廿四日

一 遠嶋所合 後鳥羽院勅判

八十六代曰條院嘉禎二年七月

一撰五十首奇合

定家卿 家隆卿

一百三十番奇合

判為家卿

八十八代後深草院寶治元年

一伴勢新名而奇合

判為世卿

九十二代後伏見院正安三年

一伴勢外官北御門奇合

判小倉公雄卿

九十六代後醍醐院元亨元年

一五十四番詩歌合

九十八代景光院

一新玉津湯奇合

九十九代後光嚴院貞治六年三月廿三日

一康正内裏奇合

判起多摩雅親卿

百三代後花園院康正元年十二月廿三日

一親長口家百三十番寄合 判一條禱圖

百四代後去御門院文明五年十一月七日

一七夕寄合 判一條禱圖

百四代後去御門院文明九年七月七日

一三十番寄合 判一條禱圖

百四代後去御門院文明的十二年十二月十五日

一文急三年歌合 判友原為廣御

百五代後柏原院文急三年六月十四日

一秋十五番寄合

百七代正親町院永祿元年八月廿三日

内裏哥合

天德四年三月晦日
於清凉殿有此事

題

霞 鸞 柳 櫻 欵冬 藤 暮春

首夏 卯花 郭公 夏草 戀

歌人

左

右

朝忠卿

平兼盛

坂上望城

藤原元真

大中后能宣

中務

少貳命婦

藤原博古

天德

壬生忠見

源順

本院侍從

講師

左

延光朝臣

判者

左大臣

念人

左

清原元輔

右

博雅朝臣

右

中將更衣

宰相更衣

藤典侍

少貳命婦

右衛門命婦

右近命婦

兵衛命婦

兵衛藏人

兵庫藏人

冬河藏人

天德

辨更衣

按察更衣

橘宰相

少納言命婦

右衛門命婦

兵衛命婦

越後命婦

備前藏人

義作藏人

兵部藏人

勅負藏人
侍從藏人

源為明

源重信

源重光

源延光

藤伊尹

源保光

藤忠君

平時經

木子藏人
官内藏人

源盛明

藤博古

藤頼忠

藤文範

清原元輔

藤國光

藤魚家

藤助信

源伊陟

藤為光

藤守仁

藤濟時

平珍枝

藤重輔

源時仲

童

左

平保遠

天德

藤清遠

大江新光

藤安親

茶清直

藤永保

藤雅枝

藤為光

右

藤元明

三

源時明
藤道隆
藤為時
藤景舒
藤惟賢
藤信賴

真正
藤朝光
藤保名
義理
能正
延正

一番 霞

左勝

朝忠

くろくはのりかひりききあきとほろりかきとるん

右

無盛

^{詞花}あつとくまめはよきのみりくろくはのりかきとるん

左右哥讀合 勅小臣曰可定 奏勝劣者遂巡 奏
云小臣統雖備三十一之字全難辨勝劣之義伏請
天裁 勅云若不定勝劣已失今日興兼結後代鬱致捕
速可定申者遇 天氣之不許表空慮之拙而已
たつとくまめはよきのみりくろくはのりかきとるん
しめいしかなとくまめはよきのみりくろくはのりかきとるん
ひらとくまめはよきのみりくろくはのりかきとるん
あつとくまめはよきのみりくろくはのりかきとるん

ひる只在^レ勅定小臣屢作^レ天氣遂無^レ左右作^レ因^レ
心^レた^レ為^レ揚^レ

二番 鷺

左 勝

順

拾遺

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

右

兼盛

続拾遺

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれ

三番

左 勝

朝忠

玉葉

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

詞花

右

兼盛

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

あはれもあふともあはれをたのむらん
あはれもあふともあはれをたのむらん

四番 柳

左 勝

兼盛

右

右

尾

望城

あつたなみうとどけくとも柳の糸いほまろもつてあふ

右勝

兼盛

さほひ先のいれそめくろも柳とあはれさうりてまれぬとせ
欲讀^タ右哥^ツ之る尾方人申^テ云^ク件柳^リ哥^ト違^ヒ濫^シ次第^ヲ續^ク
事^ヲ先^ニ畢^ス而^{シテ}重^ク欲^シ讀^ム之^ヲ似^シ忘^ル首^ノ尾^ヲ者^ト小^ノ長^ヲ答^テ云^ク鶯^ノ哥^ト之^ヲ
時^ニ隨^テ尾^ニ申^テ已^ニ有^リ裁^許重^ク不^可申^ス尾^ノ方^ノ申^テあ^らま^りぬ^ま
乃^リこ^のと^る人^ノあ^らま^りぬ^まさ^うり^てな^らぬ^まと^る哥^トと^るあ^らま^りぬ^ま
あ^らま^りぬ^まと^る難^シん^んと^る仍^シ右^ノ方^ノ勝

五番 楼

尾勝

朝忠

^{續千載}
何^レも^のこ^のつ^れ糸^とま^りの^めも^の揚^むむ^のじ^はけ^した^のま^のけ^のめ^ん
右

元輔^{真一}

後拾遺

よ^のふ^らと^とと^のけ^ん揚^むむ^のぬ^んと^のけ^のめ^ん
尾^ノ方^ノ申^テ云^ク件柳^リ哥^ト違^ヒ濫^シ次第^ヲ續^ク
事^ヲ先^ニ畢^ス而^{シテ}重^ク欲^シ讀^ム之^ヲ似^シ忘^ル首^ノ尾^ヲ者^ト小^ノ長^ヲ答^テ云^ク鶯^ノ哥^ト之^ヲ
時^ニ隨^テ尾^ニ申^テ已^ニ有^リ裁^許重^ク不^可申^ス尾^ノ方^ノ申^テあ^らま^りぬ^ま
乃^リこ^のと^る人^ノあ^らま^りぬ^まさ^うり^てな^らぬ^まと^る哥^トと^るあ^らま^りぬ^ま
あ^らま^りぬ^まと^る難^シん^んと^る仍^シ右^ノ方^ノ勝

六番

尾持

徳宣

詞花

さ^らと^とと^のけ^ん揚^むむ^のぬ^んと^のけ^のめ^ん

右

兼盛

揚^むむ^のぬ^んと^のけ^のめ^ん
尾^ノ方^ノ申^テ云^ク件柳^リ哥^ト違^ヒ濫^シ次第^ヲ續^ク
事^ヲ先^ニ畢^ス而^{シテ}重^ク欲^シ讀^ム之^ヲ似^シ忘^ル首^ノ尾^ヲ者^ト小^ノ長^ヲ答^テ云^ク鶯^ノ哥^ト之^ヲ
時^ニ隨^テ尾^ニ申^テ已^ニ有^リ裁^許重^ク不^可申^ス尾^ノ方^ノ申^テあ^らま^りぬ^ま
乃^リこ^のと^る人^ノあ^らま^りぬ^まさ^うり^てな^らぬ^まと^る哥^トと^るあ^らま^りぬ^ま
あ^らま^りぬ^まと^る難^シん^んと^る仍^シ右^ノ方^ノ勝

七番

尾勝

女貞令婦

^{拾遺}
あ^らま^りぬ^まと^る難^シん^んと^る仍^シ右^ノ方^ノ勝

右

兼十載

右

中務

年一と来つて日つたつとらるるも雲とて下ちふらうかうか
たすいやくゆりくくゆりききありめんたすいやくこ
よこつたつとらるるも頗る涼也いまうつりつたつとらるる
あやかりゆひたるる

八番 秋冬

左勝

順

選

善くも井の川浪あつらうかてこそあやまのたのたれ

右

兼盛

ひさげの八重もまよひもまよひたつてよまよひたつてまよひ
たすいやくゆりくくゆりききありめんたすいやくこ
よこつたつとらるるも頗る涼也いまうつりつたつとらるる
あやかりゆひたるる

あやわらん又上乃句のこそ下れ乃くくとゆ
し文字わりゆひたるる

九番 菟

左

朝忠

統十載

ひさげの八重もまよひもまよひたつてよまよひたつてまよひ

右勝

兼盛

約法拾遺

目れつていつたつとらるるも雲とて下ちふらうかうか
たすいやくゆりくくゆりききありめんたすいやくこ
よこつたつとらるるも頗る涼也いまうつりつたつとらるる
あやかりゆひたるる

わくあ 沙氣をことと名うしむとてかたむら小臣問源大
納言云尤艶也あまうく持は疑之間たあ人申云片
弁の友浪あうしううひんいりや然りこと可然仍
以右為勝

十番 暮春

左勝

朝忠

花新千載ゆふとらうとさうたうまなういりくさあやあうまう

右

博古

乃長乃こまりとさうのあふあねもあまはとれはあま
た弁そをもおけあうまひとありとけうた弁の
たこころやうなりあうととらわら仍以右為勝

十一番 首夏

左勝

独宣

なぐしあ送いま送いさう送ねい送ま送れ送のうす送た送あ送は送ら送と送ま送と送ひ送

右

中務

あう衣きらあうまひむさうさうかんれとあまやうさ
た弁い友のうく先とけりもこととらうのういりあ
くあうとわさうとととけりあう又あうととあ
りれたの弁もいわくとすあうたれと弁れああは
ほかなれと持もとて定め申

十二番 卯也

左

忠見

なぐしあ送い送ま送い送さ送う送ね送い送ま送れ送のうす送た送あ送は送ら送と送ま送と送ひ送

右勝

魚盛

わじの送い送ま送い送さ送う送ね送い送ま送れ送のうす送た送あ送は送ら送と送ま送と送ひ送
た弁山の卯れむととあひひ出まんらうたあ

抄の山なれと抄の海なれり仍も右の書

左持

望城

ほのふとなきいふあつ時を伴ふよおれた書等のいふ色

右

兼盛

^{指送} 深山出くわすもわらう部えわつさつて若りいふあ
らそとこり奥あつていふ抄の仍も右

十四番

左持

忠見

^{捨送} こよあひてねあつていふあつていふあつていふあつていふあ

右

元真

ふなふまてわらういふあつていふあつていふあつていふあ
なすいふあつていふあつていふあつていふあつていふあ

これと并にうらうらとあつていふあつていふあつていふあ
まうとあつていふあつていふあつていふあつていふあ
あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ
あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ

十五番 夏草

左持

忠見

あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ

右

兼盛

^{後拾送} 友うくがらとてあつていふあつていふあつていふあつていふあ
あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ
あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ
あつていふあつていふあつていふあつていふあつていふあ

十六番 戀

左持

朝忠

^{新古今} 人ほくよきましつゝあはれぬの心この世にのこるやとん

右

中務

^{続千載}

ひげおのぶらけ後つゆ海つゝくさう井やと紙よかきんわ
たすいおだぢけつたつゝあまこはくこはくこあや
なぞ兼ち新じつとめつゝとまりうらとまぢいぬ
もつとまと我のつゝあはれあやうわれとつたわ
やまらつゝなまもこそのうゝ 奏すれいわやまらた
らんぬいそとと地りきとわもここのた為勝

十七番

左勝

徳宣

集三歌

^{拾遺}

うひきびあめつまぐつあゝふん後つふたふとめらねまふ
君よりあはれあつゝあまのこゝろひあゝとあつ月日ありま

右

中務

たす頗有情仍為勝

十八番

左持

中院侍從

^{後拾遺}

ひらきほわあまのまにあひかかめくゝる命とらふ

右

中務

^{続古今}

いさふ和舟の月とかりなんあひつゝまややろりたあつ
たすさそをわりかんち新のうとれれるのうふはは
又字とわあつめくさけよそいゝさつあつあつ
奏とれこたおの作あたの人かたのうらつゝ
らんと甲われとらせら謝あいわらぬまを仍為勝

十九番

左勝

朝忠

^{拾遺}

わかとれあつゝなつゝあつゝに人をもめあつゝあつゝあつゝあ

右

元真

君よりいひまはさしけり
たぢやいとわたりしれとたのこ
いなる後

二下番

右

忠見

若送
いひまはさしけり
いなる後

右

兼盛

拾送
そのれとに出不せり
小臣 奏云方右哥俱
各尤可歎羨但猶可定申者
小臣讓大納言源朝臣
屈不 奏此間相互詠揚
各似請我方之勝小臣
頻使 天氣未給 勅判令密詠
右方哥源朝臣密語云天

氣着在右欽者因之遂以右為勝

思有取者持之類已但
左哥甚好矣殿上日記

雖注取分方人之由依典
其名就他日詠書入之

丸

朝忠

八七首 六首勝 一首負

順

八三首 皆勝

望城

八三首 一首持 一首負

能宣

八三首 一首勝 二首持

忠見

八四首 一首勝 一首持 二首負

小貳命婦

八一首勝

右

兼盛

八十一首 四首勝 二首持 五首負

元輔

八一首負

本院侍從元輔哥後拾遺皆兼盛也如何

へ。こののふりあはるは銀のさへ争ひはけりかゝるをせしむ。花
 鳥のさしんとはけりしとちりしものすしむかひのさしんは
 ちとさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ひららのすそこちりしはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ぬいしちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 知りあわたりあつたりはさしんはさしんはさしんはさしんは
 浄業よりたふす。すしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 たはは。大納言源朝臣。みよの大將よりあつた。ぬいしちりしは
 まいしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 さしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ぬいしちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 して女房さしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ひららのすそこちりしはさしんはさしんはさしんはさしんは

ちのあつたの朝臣。右むらまのの物言。すしんはさしんはさしんは
 争ひしとちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 まいしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 いしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 とちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 まいしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 てしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ひしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ふちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 りのさしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 ぬいしちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 の物言。すしんはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは
 とちりしはさしんはさしんはさしんはさしんはさしんは

近江渚息所歌合

題

梅

かめし橋

を橋

梶木花

楓

柳

あさら

うれむ

山さこのむ

山さけ花

花橋

火橋乃花

岩はし

はねるむ

岩柳

竹息所歌合

見はしる花

う花草

ふ花草

あらしのれ

みよきとてはれはしるし

まろ花のりうとあはれ

右のりうとあはれ

梅

香あはれあらしそききれ梅はさきさきあはれ

柳

あはれあらしとわん柳は花もさきさきあはれ

花梅

あはれあらし川も春は花梅もさきさきあはれ

御息所

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

河條大納言公任卿以平跡本寫首者也

消息所談合

五



